

技術名称 SHS永久アンカー工法

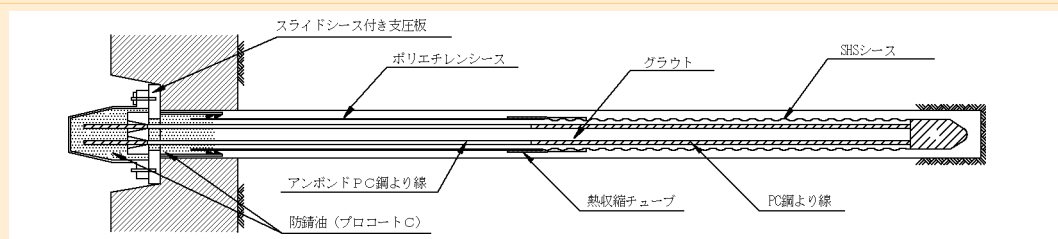
技術の詳細に関するURL <http://www.shs.gr.jp>

技術の特徴・概要

SHS永久アンカーは、自由長部と定着長部の各々の機能が十分に発揮できる二重防食永久アンカーです。通常タイプとシース注入タイプがあり、通常タイプはアンカーケーブルにインナーグラウトホース

とアウターグラウトホースが装着されています。シース注入タイプは自由長部シースと定着部シースを使用してグラウトするもので機能は通常タイプと同等ですが、削孔径を小さくすることができます。

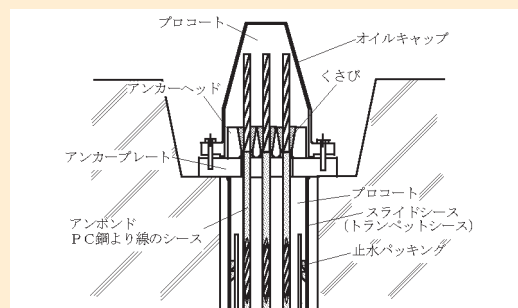
現地での施工状態や技術が活用されている図・写真、コメント等



SHS永久アンカーの構造



施工状況



頭部処理

実際に技術を適用して困った点、今後の改良課題等について

技術的には完成の域にあり、同タイプにおいて改良していく部分はないと思われていますが、今後市場のニーズに応じてさらに部品点数を少なくしたり材料

費の削減によりコストを下げていくなどの必要もあるかと考えています。

技術のPRポイント、得意とする現場条件や他工法と比較して有利な点など

SHS永久アンカーは二重防食タイプの永久アンカーですので防錆効果に優れています。また、自由長部はアンボンドPC鋼より線を厚肉のポリエチレンシースで被覆しているため強度が大きく、摩擦抵抗が少ないため十分なプレストレスを与えることができます。

一方、定着長部にはステンレス製波形状シースを使

用し、拘束効果により大きな付着強度が期待できます。このように、SHS永久アンカーは自由長部と定着長部の構造を変えることで、その機能を最大限に活かします。

また、フレキシビリティが高いため、運搬施工が容易となります。